

新人職員が行く!! 災害ボランティア体験



本会の新人3人が災害ボランティアに行ってきました!
[平成30年7月豪雨]により被災された岐阜県関市と岡山県倉敷市で活動してきました。

岐阜県関市災害ボラ隊(隊員:加藤・吉田)

関市への災害ボランティアは、7月15日(日)、9月8日(土)の2回参加しました。

1回目は災害ボランティアの経験豊富な先輩職員と一緒にいき、気温が40℃以上に上昇するなか、中学校の運動場に集められたごみ山の分別をしました。家電を含む粗大ごみから衣服、食器、封の開いた食パン、調味料など、日常生活で使用していたものがそのまま積み上げられていました。

2回目は関市出身の先輩職員と行き、民家の床下に撒かれた石灰(*)の除去、柱の泥払い、水拭き、消毒液の噴霧を行いました。(※石灰は、殺菌効果が期待されるので、水害の後には撒くそうです)

岡山県倉敷市災害ボラ隊(隊員:庄野・吉田)

西尾張地区の社協で、初の試みとして実施された被災地ボランティアバスツアーに参加しました。10月13日(土)から15日(月)までの2泊3日の日程で、社協職員とボランティアさんの総勢16名で倉敷市へ向かいました。

1日目は、移動中心でしたが、初めて顔を合わす参加者同士、親睦を深めました。2日目は、個人宅に伺い、泥に浸かった部屋の清掃や石膏をへらで落としました。また、床板をはがすなどの力仕事もしました。3日目は、災害ごみの集積場であった公園の清掃を行いました。子ども達が安心して遊べるような環境にするため、地面の中に埋まっているガラスや食器の破片を拾いました。



大工ボランティアさん指導のもと
床板をはがし、床下の泥出しができる状態に



公園のガラスなどを拾っています
土の表面を掘りながら分別していく地道な作業です

災害ボランティアに行くための事前学習



防災ボランティアコーディネーター
養成講座を受講

災害ボランティアセンターの立ち上げ方などを学びました。3人揃って修了証書を取得。



一宮市総合防災訓練に参加

災害ボランティアセンターの立ち上げと、給食・給水・物資の運搬を行いました。

災害ボランティア活動を経験して…。

水に浸かった災害ごみの臭気や巻き上がった粉塵は、テレビを観ているだけでは伝わらないものだと思います。また、ボランティアを通して他の地域の方たちと交流することができ、被災地の方たちから「ありがとう」という言葉をいただけたのでとても嬉しかったです。貴重な体験をさせていただきました。(加藤)



今回の災害ボランティアは私にとって7年ぶりの活動でした。「報道にあまり出なくなつた」=「復興が進んでいる」というわけではないのだな、と改めて思いました。現地を見た人にしか分からないことをたくさん学んだ時間だったので、これからはその情報をもっと発信していけるよう頑張ります。(庄野)



災害ボランティア活動を通して一人ひとりの地道な作業も、大勢集まれば大きな力に変われることを改めて実感しました。また、被災者の方が「服を着てご飯を食べて寝る。当たり前な生活が送れることに感謝してください。」とおっしゃったことがとても印象的でした。貴重な経験を糧にしていきたいです。(吉田)



災害ボランティア持ち物チェック& ワンポイントアドバイス

災害ボランティアでの失敗談

マスクとゴーグルを同時着用するとゴーグルが曇ってしまった…。
⇒曇り止めがあると便利!

ボランティア保険に事前に参加

必ず社会福祉協議会にて参加してから参加してください!当日は保険証のコピーも忘れずにお持ちください!(P6参照)



認定NPO法人レスキューストックヤード
水害ボランティア作業マニュアルより

災害ボランティア経験がない方でも、現地へ行けば必ず被災者の力になれます。万全の準備をして、災害ボランティアに参加してみてください。

出発前に、全国社会福祉協議会 被災地支援・災害ボランティア情報をチェック!

<https://www.saigaivc.com/volunteers/>



寄付金で被災地支援

被災地に行けなくても、支援の方法はあります

寄付金は、自宅からでもいつでも行える支援の方法です。必要な時に必要な物に使ってもらえるという意味で、最も被災地のニーズに応えることができる支援方法でもあります。寄付金には支援金、義援金と、大きく分けて二つの種類があります。

支援金は被災者に直接届くものではなく、復旧活動や支援団体の活動費に充てられます。義援金は直接被災者に届きますが、公平性を守るために、届けられるまでに時間がかかってしまいます。その点、支援金は比較的すぐに役立てられます。